

# ささえ愛

VOL. 031

発行 平成31年3月

発行元 坂井市福祉委員幹事会  
(坂井市社会福祉協議会)



「ささえ愛」は、あなたの地域で活動する福祉委員に関する情報紙です

## “春西見守りネットワーク”誕生！

平成30年10月25日に春江町西部地区にて、坂井市で36地区目となる地域福祉推進基礎組織（ふくしの会）“春西見守りネットワーク”の設立総会が行われました。西部地区在住の区長、民生委員、福祉委員に加え、来賓として山本県議会議長他、西部地区の市議会議員や小学校長、老人会会長などの福祉関係者が臨席され、激励の言葉がありました。

春西見守りネットワークの大きな強みは、各ブロックネットワーク連絡会（民生委員単位エリア）からそれぞれ代表を1名選出し、役員会を構成しているところです。これによりすべての区の活動状況や地域の課題を把握・共有しやすい仕組みになっています。

今後は区長、民生委員、福祉委員3者における見守りネットワークの強化を目的に、少しずつ地域の福祉課題の解決に向けて活動の幅を広げていくことが期待されています。

設立総会の様子



### ワンポイントチェック！

#### 『地域福祉推進基礎組織とは？』

小地域での見守りネットワーク活動を目的とした住民組織です。身近な地域で自分たちの生活に根ざした福祉活動を検討し、取り組んでいます。

# 完成

## 福祉委員活動事例集！

この事例集は、市内での先進的な活動実践をとりまとめたものです。福祉委員をはじめ地域全体で取り組む見守り活動のご参考にできればと思い作成しました。

### 坂井町兵庫地区



子ども福祉委員！  
☆み～んなで学ぼう！福祉“共育”☆

敬老会など、まちづくり協議会の行事を通じて見守り活動（年3回）を行っています。はじめは大人だけでしたが、H29.4に社協からのモデル事業『子ども福祉委員』を受け、歳末訪問には子どもたちと一緒に取り組みました。

訪問先の方は、事前に身なりを整えていたり、お菓子を準備していたり、良い影響を与えています。



福祉委員 内江 輝三



### 丸岡町猪爪新3区



一人の悩みはみんなの悩み  
「できること」を考える

「できること」を考え、「できないこと」も考える

はじめて丸岡地域ケア会議に参加したときは、専門職ばかりで緊張しましたが、事例を通していろんな方たちと話し合っていくうちに「福祉委員にできることってなんだろう」と自分自身が具体的に考えるきっかけになりました。猪爪新3区は、普段から見守りに気を配る地域で私もある程度わかっているつもりですが、今後も地域全体で「できること」も「できないこと」もみんなで考え実践していきたいと思います。



福祉委員 堀 美奈子

## ある日の様子

### ～ こんな世の中だからこそ ～



私は経済成長期の生まれであり、当時もすべての住民が満足する生活ではなかったが、狭い家の中のちゃぶ台を中心に家族の顔を見て、その会話の中から物事の善し悪しを学び、そこに家族の絆があったと思います。時に悪い事をする、近所の“かみなりオヤジ”に怒られたり、“世話好きおばちゃん”に面倒を見てもらったり、「困った時はお互いさま」の助け合いの繋がりが自然に行われていました。近年、若者が児童を殺害するなどの痛ましい事件がニュースに流れるたびに、なんで？ 何とか成らなかったのか？ こんな世の中だからこそ、我われ福祉委員が日頃の活動の中で気配りしながらアンテナ役・お知らせ役として活動する必要性を強く感じる今日この頃。＜活動する上で自分自身が気を付けている事：①相手をよく知ること、②聞き上手になること、③相手の立場を知ること、④個人情報を守ること＞ 春江町江留上錦区 福祉委員 坪内 優三

## きいてきたぞー

### ～ 福祉委員としての信条 ～

福祉委員となり2年目を迎えました。私の地区は、地区役員を6年間務め、5年目に区長、6年目に顧問となり、その間、区長・顧問の2人が福祉委員を2年間務めるのです。ですから、区内の事を熟知しており、福祉委員として、地区内の高齢者等については、殆ど把握しているつもりです。ですが、完璧とは言い切れません。そこで、これを補うために、私の場合、機会を捉えて、例えば、毎日ワン公と区内を散歩している時に、高齢者のお宅の前を通ると、立ち止まって様子を窺うようにしたり、顔を合わせれば話しかけたり、歴代の役員（福祉委員経験者）らと会うと、高齢者問題も含め、区内のさまざまな事について話しをして、現状把握に努めております。今後も、これまでどおりの自分のスタイルで、“ささえ愛”を信条として、活動していきたいと思っております。

坂井町上新庄区 福祉委員 水上 利秋

## ここで一言

### ～ “牛乳パック”で災害に備える！ ～



いつ起こるか分からない災害のために、できることから防災対策に取り組もうと考え、先日、福祉講座を企画し“牛乳パック”を使った「一人用非常食セット」を作成しました！日赤奉仕団より、作り方の基本やコツをご指導いただき、実際に牛乳パックの中にビスコやブドウ糖、割り箸、マスクなどを入れ、最後に封をして賞味期限を書いて完成（とても簡単♪）。災害時には自分で3日分の食料を確保しておくことがポイント！これを機に今後、いつ起こるか分からない災害のために、自分たちが出来ることを少しずつでも進めて災害に備えて行きたいです。

三国町汐見区 福祉委員 加登 啓子

### 坂井市社協 各支部連絡先

- みくに支部  
TEL：82-1170
- まるおか支部  
TEL：68-5060
- はるえ支部  
TEL：51-4545
- さかい支部（本部）  
TEL：67-0699

### ＜編集後記＞ ～ ステップ・バイ・ステップ ～

『社会福祉』という言葉のイメージを考えてみますと、ボランティア・障害者・お年寄・大変・社会的弱者など、様々な価値観や世代などにより多様なイメージや印象があるのではないのでしょうか。

誰もが幸福になれる社会が理想ではありますが、容易なことではないと多数の人が諦めている現実があります。個人の力では、大きな革新や改革は不可能ですが、日々、一人一人の小さな親切、思いやり、助け合い、地道な活動等で、新年号時代に向けて、少しずつより良い方向に変わっていき、明るい話を多く聞きたいものです。

丸岡町儀間区 福祉委員 吉田 英夫